



発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2021年11月25日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: http://sagamiva.info/

ほかほかふれあいフェスタ2021障害者週間キャンペーン 11月27日(土)に開催!



障がい者の福祉についての関心と理解を深めるため「障害者基本法」に位置づけられている「障害者週間(12月3日~9日)」に、街頭でキャンペーンを開催します。

日時 2021年11月27日(土)

12:00~15:00

場所 相模大野驛北口・サンデッキ相模大野

*雨天決行です。



ステージでは

- ・車椅子ダンス
 - ・ヒップホップダンス
 - ・よさこいソーラン
 - ・銀河3世バンド
 - ・チョップスティックス
 - ・大道芸人TAKUMI
- 皆さんがパフォーマンスを繰り広げます。
また、生活介護支援事業所「のびやか」さんの手工芸品の販売もあります。
たくさんの方々のご来場をお待ちしています。

活動報告

家具転倒防止活動を実施

杉本 榮治

家具転倒防止活動は従来ボラ協が窓口を担当し、災害ボランティアネットワーク(SSV)が実務を担当していましたが、SSVの主な活動者が退会されたことで現在は実務もボラ協が担当することになっていきます。このことは、昨年12月頃のぼら通で紹介させて頂きましたが、新型コロナウイルス蔓延のため開店休業状態にありました。

最近比較的大きな地震があったこと、時を同じくして市の防災ガイドで紹介されたことから、引き続き2件の依頼がありました。

早速利用希望者と連絡を取りボランティアとのマッチングを行い、今回は防災士の高木さん(ボラ協会員)、小川進さんと杉本の3名で南区西大沼の利用者宅を訪問し事前調査を行いました。戸建ての木造住宅で依頼者は数年前に主人を亡くされた独り住みの女性で食器棚と冷蔵庫の転倒防止を依頼されました。尚、テレビは既に対策されておりました。3人で方法を検討し、壁内の構造や、天井の強度等も考慮し対策方法を決め利用者に資材の購入等を説明して調査終了となりました。

2件目は緑区西橋本の新しいマンションの独り(犬2匹)住まいの女性で、息子さんは海外の仕事で時々帰国されるのですがコロナでこのところ会えないとの事でした。住所の関係で小川進さんと杉本で対応することとし

事前調査に訪問しました。飾り棚とテレビの固定を依頼されましたが、コンクリート壁のため釘等は使用できず飾り棚は突っ張り棒方式とし、テレビは専用のフックとステンレスワイヤでの固定と決め調査を終えました。帰りに資材を調達し、利用者、ボランティアと日程の調整をし、後日施工に訪問しました。

利用者からは【これで安心して眠れます】【対策をしてそれでも倒壊したのならあきらめもつぐが対策せずに倒れたら悔やむから】といった感想を頂きこの活動の意義を感じました。今回の依頼者は2人ともご主人を亡くされ近隣の方との交流も少なく寂しい毎日を通しているとの事でした。短い時間でしたが、我々との会話は多少お役に立てたかなと思えました。尚、ボラ協の活動内容やその中でも傾聴の活動も紹介しました。

首都直下型地震が今後30年間に70%の確率で発生すると言われています。また高齢化社会でもあり潜在的ニーズは多いと思われる。ニーズの掘り起こしが必要と考えています。



突っ張り棒で家具を固定する作業中の高木さん

委員会報告

DVD制作実行委員会の活動

リーダー 西本 敬

昨年の8月にスタートした委員会です。社協の井上さんにも参加いただき、新たに参加いただいた会員も含めて、毎回賑やかに会議を行いながら進めています。現在、制作が進んでいるのは、次の2点です。

①ボランティア協会紹介ビデオ

協会紹介の三つ折りリーフレットに沿った内容で企画することになり、恒藤さん作成の原案をもとに制作してきました。できるだけ見やすいものにするために、動画や静止画を使い、説明ナレーションもつけて、ほぼ完成の状態にあります。学校や、会合などで協会の説明をしたいと考えています。

(15分)

②ハンディキャブ活動紹介ビデオ

見た人がハンディキャブ活動の手伝いをしてみようかなと思つようにするために、杉本さんの原案にそって制作しています。ほとんど完成していますが、活動ボランティアへのインタビューの動画を加えれば完成となります。現在、杉本さんが動画編集ソフトで格闘しています。(14分)

今後は、協会の活動以外にも相模原で紹介したい活動のあれこれ動画を交えて制作していきたいと思つています。1期待ください。

NPO パネルで発表会

in オンライン

市内イベントを取材!

幅広いボランティア活動を紹介!

自分に合ったボランティアを探して!

去る11月30日(水)文化の日に、

さがみはら市民活動サポートセンターの催しが、横浜線古淵駅すべのイ

オン相模原店1階ハブリックスパー

スで10時~15時にかけて開催された。

従来は毎年秋季の時期、湘野辺公園で開かれる農協フェスタに参加していたが、コロナ禍で中止になったため、何とか自分で発表の場を持ちたいと

パネル展示で活動紹介をするようになった。

本来ボランティア活動の場は多岐にわたっているのだが、最近は福祉のイメージが

強く、福祉以外の活動が余り知られていないせいもある、なかなか人手が集まらず

困っているグループも多いようだ。

そこで今回は、市内で活動している18団

体の活動紹介をパネル展示と同時に活動動

画を放映して、様々な活動があることを認知してもらい、自分に合ったボ

ランティアが見つかったら、具体的に行動に移して欲しいというところ。

当日は好天に恵まれ、こもれびの差し込む広々としたパブリックスペー

スには見やすく展示物が配置され、柱の横のスクリーンには、活動の様子が映し出されて、より一層リアル感があり理解しやすいと思う。

休日のため、来訪者の出足は鈍かったが、

関係者も含め、徐々に立ち寄り寄る人は増え賑

わいを見せていた。職員の方々も大勢いて

質問に丁寧に答えていた。こんなボフ活動

もあるのだとわかり、やってみたいと思っ

人がきこって現われるに違いない! (山崎)



目を引くカラフルな展示



こもれびの差し広々とした会場

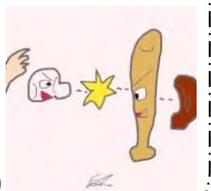


テーブルの上にも様々なパンフレットが!

小倉義男

12月の記念日は?

12月12日、バッテリーの日。
日本蓄電池工業会(現在の電池工業会)が1985(昭和60)年に「カーバッテリーの日」として制定。1991(平成3)年に「バッテリーの日」と名称を変更しました。野球のバッテリーの守備位置が数字で1、2であらわされることから12月12日に記念日制定。ピッチャーとキャッチャーの間で電流がバチバチと。確かに電流が流れているのかもしれませんがね。(〽)



小倉画

クイズに挑戦



面白クイズです。

①タロウくんのお母さんには5人の子供がいます。イチロー、シロー、サフロー、シロー。さてもう1人の子供の名前は?

②山に登った人達が、必ずするちょっとしたことでしょ?

③バスに8人乗っています。そのうち3人が降りました。バスの客は何人でした?

市内活動グループ訪問記

お楽しみ

ハンドメイドショップバオバブは
素敵な製品がいっぱい！



11月に入り穏やかなお天気が続く4日に、あじさい会館1階にある「ハンドメイドショップバオバブ」さんにおじゃましてお話を伺いました。

当日は、パステルファームから宮田さん、池田さん2名のスタッフと、製品を出品している作業所「ポコアポコ」の利用者さん1名の計3名でお店番をされていました。

★ハンドメイドショップバオバブさんについて教えてください。

★ハンドショップバオバブは、相模原市障害者地域作業所等連絡協議会(障害連)が運営する手作りの製品のお店で、事務局は松が丘園です。相模原市の障害者福祉サービス事業所で作っているさまざまな手作りの製品を販売、また障がいのある方の就労体験の場や、市民との交流の場になっています。

★どんな製品がありますか？ また参加団体さんの数は？



優しく対応して下さるスタッフの宮田さん(右)と池田さん

★製品は、食品、陶芸、木工品、革製品、紙製品、布製品、織物製品、雑貨、アクセサリーなど、団体数は20カ所以上です。障害連に加盟していない事業所

からも出品していただいています。

★人気商品を教えてください。

★クッキー、ハーブティー、乾燥コンニャク、今はしいたけも人気があります。クッキーは1個からでも買えます。時節柄、缶バッジ(フクチン接種済みの文字と絵付き)など、これからはクリスマスカード、アクセサリーも人気があります(マスクの紐に付けるビーズのアクセサリーが可愛かったです)。マスクが品薄の時はよく売れました。

★お客様は？

いろいろですか？

★あじさい会館に来られた方、病院が近いので通院帰りの方、バス待ちの方、ウエルネスに来られた方など、特にあじさい会館で催し物があった時は沢山の方々がいらっやいます。リピーターの方も多いです。



クッキー、ハーブティーなど沢山の品物が工夫されて並べられています。

★エピソードなどがありましたら教えてください。

★利用者さんがお店番をしている時に、自分たちの作業所で作った製品が売れると「売れたよー」と嬉しそうにしています。

納品された製品はスタッフ、利用者さんで、どうしたら見やすいか、車椅子から見やすいように、どの製品をどこに並べるかなど、いろいろ工夫しています。車椅子、ベビーカーも入れやすいになっています。

シジ業務やお掃除も自分たちで行っています。展示が好きな人はきちんと丁寧に並べ、お掃除が好きな人はお掃除を(当日も床はビッカピカでした)。シジが好

きな人はシジを担当、個々の適性を生かしてその人に合った作業をお願いしています。

利用者さん何つと「朝から夕方までで疲れるけれど楽しい」と話してくれました。お話を伺っている間も、お客様にきちんと対応されていました。

「コロナ禍以前は、スタッフ2名、利用者さん2名でお店番をしていましたが、今は密にならないように利用者さん1名で行っているそうです。早く以前のようにならなり、明るく楽しくやっていただきたい」とスタッフさんは話してくれました。

他市の方からは「相模原はいいですね。こんなに広くて色々な製品を並べて販売できる場所があって」と言われるそうです。

相模原ではバオバブ以外に、病院や生協、麦の穂カフェに製品を置かせていただいているそうです。これから販売所が沢山できると良いですね。

最後にスタッフの方が「あじさい会館やお近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。おいしい食品、ステキな製品を揃えて、スタッフ一同お待ちしております。日曜日以外は営業しています」と、こやかにお話ししてくださいました。(杉崎・小山)



*バオバブ
〒252-0236
相模原市中央区富士見 6-1-20
あじさい会館1F
TEL/FAX 042-757-6772
<http://shosakren-sagamihara.info/baobab.html>

理事会報告



11月13日(土) 理事会

(理事者名・オブザーバー1名出席)

1、報告事項

〈広報委員会〉

・ぼらんていあ 12月21日午前印刷、午後発送。

・フェイスブックにボランティアさん募集記事を掲載予定。

〈ハンディキャップ委員会〉

・新規運転免許取得者に対する対応フローを検討した。

〈事務局委員会〉

・登録を保留していた新規利用希望者の現状について共有した。

〈総企画委員会〉

・今後のボラ協のめり方を検討する場及び、メンバーを検討する。

〈講座検討委員会〉

・11月10日開催 来年春3月19日「新しいボランティアのかたち」を開催。

・来年夏の講座も春講座のPARALLEL WORLD Gsなども絡めながら企画しよう。

〈傾聴委員会〉

・11月24日開催

2、その他

・11月5日 市社協会長及び常務理事と当協会の会長等が懇談した。

・11月6日 南区福祉交流フアンシ利用者団体懇談会に参加。

・11月10日 相模原市居住支援協議会居住支援部会に参加。

・11月15日(月) 社会福祉審議会高齢者福祉等専門分科会に参加。

・11月27日相模大野駅。ペダストリアンデッキではほかからあいフェスタ2021障害者週間キャンペーンを開催する。

・来春2月12日 障がい者・家族との交流ボウリング大会を開催。

3、審議事項

・DVD制作実行委員会

新規に動画を組み込んだハンディキャップ用DVDは、来年2月中旬に完成予定。

・協会創立40周年記念の冊子の企画概要を了承した。

次回理事会 12月11日(土) 10時より

協会の今後を見据えて!



相模原市社会福祉協議会 会長と懇談会開催

11月5日(金) 午後2時から、相模原市社会福祉協議会(以下、市社協)の笹野会長、小林常務理事と懇談の機会を設けていただいた。ボランティア協会からは高橋会長、西本さん、渡邊さんが参加し、協会誕生の経緯や趣意、現在の活動や課題などをお話しし、市社協さんの視点から協会の今後の活動についてアドバイスがあげばいただきました。お伝えし、引き続きの協力を体制をお願いした。

「コロナ禍ゆえ、少人数での懇談会だったが、協会設立40周年に向け、「公的サービスの届きにくい活動の充実」「地域活動者の育成と底上げ」「情報発信」など、あらためて市社協との協働のキーワードとして、ネットがいっぱいの有意義な機会となった。(恒藤)

活動報告

社会福祉協議会

高齢者福祉等専門分科会出席結果報告

羽田 彌



去る15日(標記)の分科会があり、委員としてボランティア協会を代表して初めて参加しました結果をご報告いたします。分科会長は従来の社協故戸塚会長から笹野会長に代わりました。

議題の1つは「第7期(平成30年度〜令和2年度)の市高齢者保健福祉計画の達成状況」についてでした。

計画の詳細な18項目の目標値の達成状況が数字で表示されており、分かりやすかった。殆どの項目が達成されており、若手達の△印が少しありますが×印はありませんでした。興味を引いたのは「社会参加を行う高齢者の割合」が目標値65%に対して69%と、半分以上の方が社会参加していることです。結構高い数値であると感じしました。

議題の2つ目は「高齢者福祉施策の見直し」として、第8期計画(令和3年度〜5年度)の概要と令和4年度の見直し予定についてです。第8期計画の重点取り組み事項としては、①介護予防・健康づくりの取組み、②高齢者を支える基盤整備、③包括的な支援体制の整備です。

「介護予防・健康づくり」の中で「生きがいを持つ生活や営むこと」がキーワード。ボランティア活動や就労的活動にちなみ高齢者の社会参加を促進「とありましたので」ボランティア

会員のひろほ

長年の習いごと、日々の生活の中で感じていた思いや、自由な語りごうだのコーナーです。

私としての傾聴

Ｋ・Ｓ



傾聴ボランティアを始めた理由を聞かれると、母親が亡くなったのを見て興味をもったから、というんです。でもそれは理由の一部というか表の理由。もう一つ母が傾聴をやりだす前から興味を持っていました。それも傾聴してもらいたいと思っていたんです。

そんな気持ちを抱いてから月日は経ち、ひょんなことから神奈川県傾聴ボランティア基礎講座を受講し、その講義中のワークで初めて傾聴をしてもらえた時の楽しさは今でも傾聴を続けているという原動力になっています。

自分はずっと生きづらさを感じてきました。それはじわじわと変わっていき、共感やわずかに頑張りや言わば、自分が「無力な存在」を感じた時、そんな自分と似ている人が少ないだろうという人ではなかったか。そして、そんな人たちに大丈夫だよという言葉を聞きたい。そんな風になります。

今年もまた、自分自身と向き合い、心の整理が必要なのかもしれない自分の弱みや能力のなさを噛み砕いて日々を送っていきます。



辛いこと嫌なことがあっても、気持ちを落ち着かせているのか、私は単純なので誰かや何かのせいでいいから。なかなかの性格の悪いんです。もっちは寝て忘れてしまっ。なんの解決にもならないけど。こんな偏った解決法だけが生きていける術だったりします。

私の生きづらさを増やせながらも心に余裕を与えてくれるのがうちの家族男子三人組（夫、息子、猫）です。ストレスの元凶と言いつても適言ではないのですが、彼らの自由奔放で「の」の足元は果に力が抜けていきます。

夫や息子と一緒にいけることの感謝を伝えたいのですが、なかなか言う機会に当たらない。どういったほうがいいかわかりませんでした。

その口癖を聞いて「お、代わりにおもいがとうとういってみたいから来たんだね」といって出てきました。特におならをした時。うちの家族は家なうとうでもおならをしてくれるので、感謝のこころはあります。マナー的にはどうかと思いますが・・・。

愛猫はノルウェージャンフォレストキャットという長毛種。とにかくふわふわ柔らかくくっついてたかっ。でも常に部屋の中は毛が飛んでいる状態。でも癒しですからいいんです。飼っていたのは夫なんです。お世話するのは私なんです。おは、お・ア・ア・ア・ア。

こんな時はなにかを抱っこして癒してみよう。



活動における社会参加促進」では市としての取り組みを行うのかと質問をいただきました。回答は、社協と協働して行うという意向です。それを引き取って笹野部長からは本協と一緒に取り組むというコメントがありました。

令和4年度見直し予定では、廃止する事業や統合して効率化する事業、逆に充実する事業、新規に開始する事業についての説明がありました。新規の大きなものとして「地域の包括的な支援体制づくりの検討」で具体的には「包括的相談支援事業」「多機関協働事業の体制の検討」「地域のプラットフォーム形成による地域への検討」とのことでした。なかなか難しい問題だなと思いました。

施策見直し全体に関して、小生からは、見直しの視点に「市行財政構造改革プラン」を踏まえていりますが回プランは予算削減のプランと聞いていますので、今回の高齢者施策の見直し、今後、高齢者施策が益々重要になっていく中で、「必要な人に必要な福祉サービス」の視点から財政の面で、決して後遺が無いようにのごお願いを申し上げます。

クイズの答え

- ① タロウさん
 - ② 山のおおの
 - ③ 4人（バスに乗っている88人のうち一人は運転手さんです）
- 楽しんでいただけましたでしょうか。





ボランティアさん募集！



駅周辺の花壇をキレイに！活動者募集中

内 容 花壇の草取り 若干名
 日 時 12月11日(土) 午前10時から正午まで
 ※ 雨天中止
 場 所 淵野辺駅北口交番前花壇
 持 物 軍手、汚れても良い服装でご参加ください。
 依 頼 者 NPO 法人日本福祉リレーションシップ協会
 依頼者は、高齢者・障がい児者やその家族、子育て家庭等の生活を広く支援するため、地域の多様な個人や団体とのつながりを作りながら様々な福祉事業に取り組んでいます。今回の花壇整備はその福祉事業の一環で、高齢者や障がいのある方など多くの方が参加し、交流しながら地域の美化に貢献しています。

連絡・問い合わせ先
 相模原ボランティア協会あじさい連絡所
 電話 042(759)7982
 相模原市社協 中央ボランティアセンター
 電話 042(786)6181
 FAX 042(786)6182
 メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp



相模原ボランティア協会 12月の予定

日	時間	内 容
5(日)	10:00~	HC委員会
7(火)	13:00~	広報委員会・ぼら通部会
9(木)	10:00~	講座検討委員会
11(土)	10:00~	定例理事会
13(月)	13:20~	新春ボウリング大会実行委員会
	14:00~	DVD制作実行委員会
14(火)	19:00~	ほかほかふれあいフェスタ実行委員会
18(土)	13:00~	事務局委員会
	15:00~	広報委員会・情報部会
21(火)	11:00~	ぼら通12月号印刷
	13:00~	ぼら通12月号発行

※事務局年末年始の休み

12月29日(水)~1月3日(月)

《今月のイラスト

…たまにはバラのお風呂でリラックス!》



なお

山口尚美画



ご寄付をありがとうございました

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に使用させていただきます。

<10月の寄付者>

19名の方からご寄付をいただきました。

<10月の寄付金>

総額 93,540円でした。

編集後記

先日夕方、田舎の姉から荷物が届いた。さっそく段ボールを開ける。新聞紙に1つ1つ丁寧に包まれた丸い物が。そっと新聞紙をはがす。ふわあ〜という香りと共に黄色い実が。柚子だ。私が生きて時、柚子の木あったかな…。

他にオレンジ色の少し大きめの柿。この柿はひやくめ柿だ。この柿の木はあった。今も実を付けてくれるんだ。他にさつま芋、里芋、菊の花。

段ボールが田舎の秋のめぐみを運んでくれた。
(小)